



12月を迎え市長3期目の1年が過ぎました。月日の流れる速さに驚きます。この一年も一つ一つの施策に職員一丸となって注力し、また市民の皆様とともに三島市の将来を見据えた総合計画の策定にも取り組んでいるところです。

今年も各地で開催される様々な催しや会合に参加させていただき、市民の皆様の活力が増していることをひしひしと感じました。私がまちづくりの基本に掲げる「人もまちも産業も元気な三島」を実現するポイントの一つは、『シビック(市民の、都市の)プライド(誇り)』を持つということです。そこには郷土愛という想いだけにとどまらず、地域の活性化や問題解決といった具体的な行動に取り組む姿勢も含んでいます。地域のために何かをしたいと考える人、暮らしている街を良くしていきたいと考える人が、地域の中でお互いにつながってきずなを強くすることでより主体的に活動できる、そして街全体も活性化されていくような仕組みづくりを進めています。10年後、30年後の三島の姿を思い描き、自然・歴史・文化に限らず公共施設等のインフラも含めて「今あるものをどう活かすか」という視点と新進気鋭の気概をもった積極果敢なまちづくりにオール三島で取り組んでいるところです。

三島市長 豊岡 武士

スマートウエルネスシティ ～そこに暮らすことで健幸になれる「まち」～

これからの世の中、高齢になっても健康で元気に暮らせること、それ自体が「社会貢献」といわれます。身体面の健康を保つことで医療費の抑制につながることはもちろんですが、人々が生きがいを感じ、安心安全で豊かな生活を送れるなど、『健幸＝健康で幸せ』であることは、個人と社会の双方にとってメリットがあるのです。この健幸長寿社会を創造するのが「スマートウエルネスシティ」の取り組みです。

国の調査等によると、健康づくりのために行動する人と行動しない人の比率は3：7の割合ですが、健康に対する基礎知識は日本は他国と比べて明らかに高い傾向にあります。こうしたわかっていてもできない、やらないという多数の人々を健康づくりに導くためには、健康に関する正確で基本的な情報を提供する機会を増やさなければなりません。必要な情報を広めるには、身近な人大切な人からの言葉かけ、すなわち「口コミ」が最も大きな効果を発揮することがわかっています。まずは家庭や地域で健康への声掛けを実践してみましょう。



また、健幸であるためには生活習慣病や寝たきりの予防が重要です。そのためには日常の身体活動量を増やすことがカギとなります。一人一人が無理のない運動によって体力・筋力を保つ努力も大切ですが、そこに住んでいるだけで「歩いてしまう、歩き続けてしまう」まちづくりへの取り組みも欠かせません。近年では、美的景観の良い地域に住んでいる人や社会的なつながりの強い地域ほど健康度が高いなど、まちの構造と健康について様々なデータが出ています。近い将来には、自動車の流入を制限する地区をつくって住んでいる人も訪れた人も楽しみながら歩いてしまうような、公共交通インフラの充実や緑道・歩道などのハード面の整備までも視野に入れたまちづくりを進め持続可能な予防型社会が実現されることを願っています。

トピックス みしま

◇キャンドルナイトみしま 三島市ストップ温暖化協議会

～冬空の下で 1000 のサラダ油が火を灯す～

電気の光に慣れてしまった今日、ろうそくの光でひとときの時間を過ごし、地球温暖化を防ぐために何ができるのか、一緒に考えてみませんか。



会場には、約 1,000 個の手作りの「廃油エコキャンドル」が点灯し、幻想的な光を放つ他、大学生によるライブ演奏や温かい飲み物の無料配布なども行われます。イベント開催時には、協力の市内商店会約 100 店舗や一般家庭で一斉に節電を実施します。

と き：12月7日(土) 午後5時～7時30分

と ころ：白滝公園西側広場 (三島市一番町 1-1)

内 容：ライブ演奏(マナビスト連絡会、三島ハーモニカメイツ、順天堂大学保健看護学部ウインドアンサンブル部)

◇『文芸三島』第42号の発行および入賞者表彰式

『文芸三島』は、文芸活動に関心を持つ市民の皆さんの作品を掲載した文芸誌で、昭和53年度に創刊して以来、市民の文芸活動の場として定着しています。第42号となる今回は、8部門に165作品の応募があり、約150の作品が掲載されます。10代の応募者が増加し、市内小学生による小出正吾氏(三島市出身の児童文学者)の児童文学の感想文も掲載されています。

【販売について】

期 間：令和元年12月13日(金)～令和2年3月6日(金)

場 所：文化振興課、図書館本館および中郷分館、協力書店

価 格：1冊600円

【第42号入賞者表彰式および編集委員との意見交換会】

日 時：令和元年12月12日(木) 午後1時30分～

場 所：三島市民生涯学習センター3階 講義室

入賞数：最優秀賞「文芸三島賞」6本

奨励賞「文芸三島奨励賞」36本

※ 入賞者の公表解禁は12月12日午後2時30分とします。

◇ガーデンシティみしま・クリスマスとお正月

クリスマスやお正月を迎える準備に忙しい季節。手作りの寄せ植えを加えて、ご家族で花や緑のある生活を楽しみましょう。



○苔テラリウム(ガラス容器を用いた栽培)

と き：12月4日(水) 午後1時30分～3時

と ころ：楽寿園 展示場

参加費：1,500円 定員30名(市内在住・在勤)

講 師：苔工房アイモス 小林功武さん

○子ども寄せ植え講座～クリスマス飾ろう～

と き：12月14日(土) 午前10時～12時

と ころ：楽寿園 展示場

対 象：市内在住の中学生以下 30名(小3以下保護者同伴)

講 師：ふじのくに花の都アドバイザー 設楽芳浩さん

○洋風のお正月用寄せ植えの作り方・育て方

と き：12月18日(水) 午後1時30分～3時30分

と ころ：楽寿園 展示場

参加費：2,000円 定員30名

講 師：加々見園 加々見勝八郎

※ 各講座についての問合せは、水と緑の課 電話 983-2642

◇『三島花の会』による花壇等清掃奉仕活動

「三島花の会」は、昭和55年に発足以来、夏・冬2回の清掃奉仕活動をはじめ花壇の植え替え・除草等の活動を行っています。初詣等で三島のまちを訪れる多くの皆さんが気持ちよく歩けるよう、12月18日(水)午前8時40分から2つのグループに分かれて三島駅～広小路駅～三嶋大社を結ぶ中心市街地の通りで花壇・フラワーポット等の清掃奉仕活動を実施します。



花好きの皆さん、一緒に活動しませんか？

【会員募集中】年会費：500円

問合せ：水と緑の課 電話 983-2642